

事業の概要

1 調査研究

(1) 調査研究

分野	事項
地学	鳥取層群普含寺泥岩層の化石に関する調査研究
動物	鳥取県の動物相及び分類に関する調査研究 鳥取県沿岸の漂着動物に関する調査研究
植物	鳥取県に産する植物の分布に関する調査研究
考古	鳥取県内の古瓦について調査研究
民俗	三徳山三仏寺に関する調査研究
歴史	鳥取藩政資料及びそのデジタル化に関する調査研究 鳥取県の仏像に関する調査研究
美術	鳥取県に関係した文化財、美術資料、ゆかりの作家・作品等についての調査研究 平成15年度特別展「よみがえる仏像」企画展「ルオー版画展」「鳥取の美術家シリーズ（仮称）」等についての調査研究

(2) 研究報告等の刊行

刊行物の名称	発行時期	回数	発行部数	規格	ページ数
博物館年報 No. 31	15年10月	1回	400部	A 4	54ページ
郷土と博物館 第49巻	16年3月	1	500	A 5	42
研究報告 No. 41 川上 靖・平尾和幸・清末幸久： 鳥取県沿岸における漂着動物の記録 清末幸久：〔短報〕鳥取県に新たに帰 化したトキワアワダチソウとベニバ ナサワギキョウ 石田敏紀：〔資料紹介〕『シベリヤ曠野に 咲く花』－抑留者の手記－	16年3月	1	500	B 5	96

2 資料収集・保管

(1) 博物館資料保有状況

(平成16年3月31日現在)

区 分	前年度末 保有点数	本年度増加点数					本年度 減少点数	本年度末 現在保有点数
		購 入	寄 贈	採 集	保管換	分類換		
地 学	5,305	13	4	165				5,487
動 物	17,174	18	1	39				17,232
植 物	28,317	4	4,385	111				32,817
歴 史	48,443	3	3	4				48,453
近現代資料	3,019	1	11					3,031
民 俗	3,382	4	16					3,402
考 古	7,514	1	3				1	7,517
美 術	5,728		23					5,751
そ の 他	123							123
合 計	119,005	44	4,446	319				123,813

(2) 購入（製作）資料

部 門	資 料 名
地 学	イグアノドン頭骨複製、プロトケラトプス頭骨複製、ディキノドン頭骨複製、プテロダクティルス全身骨格複製、ヒエノドン頭骨実物化石、恐竜の爪複製8点
動 物	両生類・爬虫類レプリカ16点、ハヤブサ全身骨格1点、タヌキ全身骨格1点
植 物	植物レプリカ4点（アメリカネナシカズラ、サンインクワガタ、ナンゴククガイソウ、タジマタムラソウ）
歴 史	天正十三乙酉年尾州小牧長久手合戦図1点、中江藤樹像1点、続英雄百人一首1点
近現代資料	鳥取一萩 汽車時刻表1点
民 俗	木彫十二支「申」（大）1点、鳥取県無形文化財木工芸（木地ろくろ）茗荷定治氏製作 煎茶盆（ケヤキ製）、壺形茶入れ（ケヤキ製）、茶筒（梅製）計3点
考 古	妻木晩田遺跡地形模型1点

(3) 寄贈資料

部 門	資 料 名
地 学	鉱物（トパーズ、方解石、月長石）3点（鳥取市 村江汎愛氏）、スズメ目化石レプリカ1点（東京都 国立科学博物館 真鍋 真氏）
動 物	オオサンショウウオ1点
植 物	維管束植物4,385点
歴 史	大日本輿地指掌全図1点（鳥取市 橋田則彦氏）、青銅製耳付壺（郡家町麻生出土）1点（郡家町 田中一慶氏）、刀（備前長船藤原春光作）1点（鳥取市 乾鑑子氏）
近現代資料	舞鶴上陸地支局復員調査班編「シベリヤ曠野に咲く花」1点（鳥取市 清末忠人氏）、倉吉線最終列車乗車証明書等10点（倉吉市 山崎由基夫氏）
民 俗	ヒルリみの1点（用瀬町 西村 豊氏）、蓋付小壺、鶏文様小箱、鶴文様小箱等12点（鳥取市 八田英子氏）、トーワ タイプライター1点（鳥取市 岩成美千代氏）、カメラ・レンズ等2件（河原町 市村芳枝氏）
考 古	須恵器（横盆、高杯、壺）3点（智頭町 竹中 撃氏）
美 術	八田正夫《縁先》1点（八田貞子氏）、八田正夫《朝鮮あざみと道ちゃん》1点（八田貞子氏）、越野邦夫《或る風景（2）》1点（越野邦夫氏）、西垣風江《民話のある風景B》1点（西垣風江氏）、清田雄司《鳥取・賀露砂原》等木版画12点（清田雄司氏）、清田雄司《鳥取・網代》等素描8点（清田雄司氏）、清田雄司《版木》等資料3点（清田雄司氏）、梶川真人《資料 西尾愛治知事宛書簡》1点（西尾洋一郎氏）

(4) 採集・拾得資料

部 門	資 料 名
地 学	スズメ目化石1点、魚類化石164点
動 物	昆虫類（セトウチフキバツタ、キンキフキバツタ、ショウリョウバツタモドキ等）39点
植 物	維管束植物（ヒナノシャクジョウ、ニオウヤブマオ等）83点、藻類（ホンダワラ、エンドウモク、フサイワヅタ、オゴノリ）4点、菌類（ミヤマテングタケ、クモタケ、クギタケ）等24点

(5) 保管換資料

部 門	資 料 名
歴 史	刀（出羽大掾藤原國路 長さ2尺3寸5分反り6分5厘目釘穴2箇所）

3 展 示

(1) 常 設 展 示

常設展示を構成する資料

区 分	実物資料 及び標本類	ジオラマ機器 模 型 類	カ ラ ー 透 視 写 真 及 び 写 真	図 板	計
地 学	470 点	20 点	37 点	51 点	578 点
生 物	1,003	86	67	68	1,224
歴 史 ・ 民 俗	505	40	31	62	639
美 術	330	—	3	5	338
合 計	2,308	146	138	186	2,779

■ 地学・生物展示室 (515㎡)

<地 学>

- 本県の地形と地質の全貌と特徴を模型で展示。
- 本県産の岩石（三郡変成岩、カコウ岩など）や化石（鳥取層群、多里層の化石ほか）による郷土の生いたちについての展示。
- 火山弾、珪化木、自然木炭、ひすい等の県内産の大型地学資料の展示。
- 本県及びその周辺で産出した化石の展示。
- 古生代、中生代、新生代の各地質時代を代表する化石展示。
- ナウマンゾウとアジアゾウの全身骨格及び山陰沖から産出したゾウ化石の展示。
- 各地質時代の古生物景観ジオラマ7景の展示。
- 水晶、方解石等の本県で産出する鉱物及び県外産の代表的な鉱物の展示。
- 鳥取砂丘の生いたちと風紋に関する展示。
- 蛍光を発する鉱物の展示。
- アジア最古のスズメ目化石に関する展示の新設。

<生 物>

- 大山と砂丘の生物の垂直分布や水平分布の状態とその特性を解説展示。
- 中国山地の代表的な植生景観と動物の生態展示（ジオラマ）。
- 鳥取県に漂着した大型動物（ダイオウイカ、オウギハクジラ、ネズミザメ、マンボウ、ウミガメ類等の標本）の解説展示。
- 頭足類、甲殻類、魚類の分類と生態を解説展示。
- は虫類の分類展示。
- 両生類の分類展示。オオサンショウウオ（巨大オオサンショウウオの液浸標本展示ケースの新設）の標本と飼育の展示とクイズ・コーナーによる解説。
- 鳥類の生息環境による分類と生態を解説展示。
- 哺乳類の分類展示。
- 山陰沿岸の貝類の分類と生態を解説展示。
- 昆虫の生活様式による分類と生態を解説展示。
- 郷土の植物の分類展示。

- 樹幹とキノコの生態展示。
- 動物の行動をレーザーディスクによって解説。
- 山陰沿岸に産する海藻の代表種の展示と生態的役割の解説展示。
- タッチングはく製やアクリル封入標本による「みて・さわって・調べよう」コーナーを新設。

<自然資料紹介コーナー>

- | | |
|--|------------------------------|
| ● 浮き袋をつけた海藻－ホンダワラの仲間－ | 平成15年2月25日(火)～4月20日(日) |
| ● かくれる・だます－昆虫の形と色－ | 平成15年4月22日(火)～6月29日(日) |
| ● 新着・せきつい動物の化石 | 平成15年7月1日(火)～8月31日(日) |
| ● 里山のキノコ－キノコを調べる会の報告－ | 平成15年9月2日(火)～10月26日(日) |
| ● くちばしと食べもの | 平成15年10月28日(火)～12月23日(火) |
| ● 春の七草 | 平成15年12月25日(木)～平成16年2月22日(日) |
| ● スゲ属の新種「サンインヒエスゲ」
－鳥取県内では67年ぶりの新種－ | 平成16年1月18日(日)～4月11日(日) |
| ● 貝化石からわかる古環境
－マングローブ干潟の貝－ | 平成16年2月24日(火)～4月18日(日) |

■ 歴史・民俗展示室 (515㎡) (16. 3. 16～)

<鳥取県のあけぼの>

- 旧石器時代の石器を展示。
- 縄文時代の石器・木器・骨角器の展示、県内出土の縄文土器を年代順に解説展示。

<弥生時代>

- 稲作文化の伝来を伝える農具、県内出土の弥生土器、祭に使われた青銅器等の解説展示。
- 青谷上寺地遺跡出土の木製品・鉄器・土器の展示。
- 妻木晩田遺跡の地形模型と、出土土器の展示。
- 日本海を介した交流による県内出土品の紹介。

<古墳時代>

- 古郡家1号墳等、県内の古墳出土の様々な副葬品の展示。
- 県内で出土した土師器と須恵器の編年展示。
- 重要文化財子持勾玉などの玉類、銅鏡などの展示。
- 重要文化財伯耆長瀬高浜遺跡出土埴輪など、県内の代表的な埴輪の展示。
- 梶山古墳彩色壁画の写真と出土遺物、県内にある装飾古墳の写真の展示。

<古代～中世>

- 因幡・伯耆国府出土資料の展示、古代の豪族に関する資料の展示。
- 大山寺と三仏寺の紹介。
- 三徳山三仏寺投入堂模型の展示。
- 東郷庄と「東郷庄下地中分図」の紹介。
- 因幡・伯耆の守護大名山名氏の勢力を示す資料の展示。
- 県内の古代寺院出土軒丸瓦、鬼瓦、上淀廃寺壁画レプリカの展示。
- 県内の経塚出土の経筒、瓦経などの展示。
- 梵鐘（廃阿代寺・国英神社）の展示。

<近世>

- 豊臣秀吉による鳥取城攻めの紹介と、吉川元春寄進状、太閤ヶ平絵図等関連資料の展示。
- 亀井茲矩書状等、亀井茲矩の事績の紹介。
- 鳥取城の模型の展示。
- 池田光仲肖像、藩主の書画など、鳥取藩池田家の解説展示。
- 御留守居日記など、夫人や家臣の江戸での生活に関する展示
- 参勤交代図屏風、駒帰茶屋絵図など、参勤交代に関する資料の展示。
- 伯耆を代表する産物である木綿に関する資料の展示。
- 大山寺博労市図など、大山寺と農業の関係の紹介。
- 幕末の鳥取藩の藩政改革を示す資料の展示。

<近現代>

- 鳥根県に併合されていた時代の地券、卒業証書などの展示。
- 小学読本、教科書等、明治期の教育に関する展示。
- 陸軍礼服、日露戦争従軍記章など、歩兵第四十連隊と日露戦争の関わりに関する展示

<民俗>

- 復元民家による昔のくらしの紹介。
- 鳥取県独自のきりん獅子舞を装束一式と映像で紹介。
- 「かすり」を作る道具の展示と、かすりの製作工程の紹介。
- はこた人形、土天神等、鳥取県の郷土玩具の展示。
- サネモリさん・荒神さんとクチナワさん・サイノカミさん等の民間信仰の解説展示（実物・映像）。
- とんどう、双盤念仏、綱引き、亥の子など、民俗行事をVTRによって紹介。
- 唐箕、棹ばかり、石臼を実際に試してみる体験コーナー。

<歴史の窓>

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| ●新収蔵資料－引札・絵はがき－ | ～平成15年5月4日(日・祝) |
| ●知られざる池田家菩提寺－龍峰寺－ | 平成15年5月6日(火)～7月6日(日) |
| ●鳥取どうぶつ物語（江戸時代編） | 平成15年7月8日(火)～9月7日(日) |
| ●シベリヤ曠野に咲く花－抑留者の手記－ | 平成15年9月9日(火)～11月3日(月・祝) |
| ●鳥取藩の藩倉一年貢はここに納められた－ | 平成15年11月4日(水)～12月14日(日) |
| ●お正月に遊び・学ぶ
－双六（すごろく）とカルター | 平成15年12月16日(火)～平成16年2月15日 |
| ●花満錦城春－絵図で見る鳥取城の変遷－ | 平成16年3月16日(火)～ |

■ 近世美術展示 (260㎡)

- 平安時代から江戸時代の県指定保護文化財の仏像等を展示。
- 江戸時代の鳥取藩絵師等の掛軸・屏風等を展示。
- 本県出身の彫刻家の作品をロビーに展示。

主な展示資料（○印は県指定保護文化財）

<近世絵画>

芳埜山春景図
四季草花之図
花鳥図

沖 探容 個人蔵
沖 一峨 “
島田 元旦 “

花鳥図
春草花之図
春野草花に慶治公の賛

土方 稲嶺 館蔵
根本 幽峨 個人蔵
沖 九臈 “

鳥取藩政時代の絵師

- | | |
|----------|----------------------------|
| ●春の景色 | 平成15年4月23日(木)～6月1日(日) |
| ●写生派の絵師Ⅰ | 6月4日(木)～8月3日(日) |
| ●写生派の絵師Ⅱ | 8月6日(木)～10月5日(日) |
| ●狩野派の絵師 | 10月7日(木)～12月7日(日) |
| ●吉祥の図 | 12月10日(木)～平成16年
2月8日(日) |
| ●文人画の絵師 | 平成16年2月11日(木)～4月4日(日) |

春園曉露図	三枝 真洞	館 蔵	楼閣山水図	根本 幽峨	個人 蔵
桜花図 (国本道男賛)	島田 元旦	"	牡丹に鳥	沖 探容	"
梅花百鳥双鯉図	小畑 稻升	"	○富士見西行図	"	"
小鳥の図	黒田 稻阜	個人 蔵	韓信老古春秋花鳥	沖 一峨	"
耕作図屏風	根本 幽峨	"	官女図	"	館 蔵
遊鯉之図	小畑 稻升	"	龍虎図	"	"
○群鯉遊泳図	黒田 稻阜	館 蔵	家翁西京舞妓図	"	"
大黒図	土方 稻嶺	個人 蔵	浪兔図	沖 探容	個人 蔵
遊鯉図	"	館 蔵	因幡八景図	"	館 蔵
蓮池遊鯉図	"	"	因幡伯耆名勝図	橋本 秀峰	"
千匹鯉図	黒田 稻阜	"	詫間 樊六之像	沖 九皐	"
○群鯉図	"	"	遊鶴の図	土方 稻嶺	個人 蔵
群鯉ノ図	"	個人 蔵	松鶴図	沖 一峨	館 蔵
遊鯉図	"	"	松に鶴図	片山 楊谷	個人 蔵
飛鯉	小畑 稻升	"	巖上双亀之図	土方 稻嶺	館 蔵
群鯉ノ図	"	"	百大黒の図	根本 幽峨	個人 蔵
遊鯉図	"	館 蔵	福祿寿図	片山 楊谷	館 蔵
鯉魚図	黒田 稻阜	個人 蔵	高砂鶴亀図	沖 一峨	個人 蔵
鯉図	小畑 稻升	"	雪中梅華図	土方 稻嶺	館 蔵
○猛虎図	片山 楊谷	"	高砂図	根本 幽峨	個人 蔵
花鳥図	島田 元旦	"	犂牛之図・自画賛	建部 栲斎	館 蔵
楊貴妃図	片山 楊谷	"	春秋山水図	"	"
楊貴妃図	島田 元旦	"	山水図	"	個人 蔵
竹鷄図	"	館 蔵	山水図	正牆 適処	"
双鷄図	片山 楊谷	"	西園雅集	"	館 蔵
東方朔図 (中幅)	"	"	歳寒二友之図	"	個人 蔵
東方朔八千歳福寿之図	島田 元旦	"	山水図	"	館 蔵
東方朔図 (左幅)	片山 楊谷	"	春園曉露図	三枝 真洞	"
菊に子犬図	島田 元旦	"	四季図	"	個人 蔵
虎之図	片山 楊谷	"	鹿野原田家にて酒宴図	牧野 芝石	館 蔵
瀑布図	根本 幽峨	"	四季花の図	"	個人 蔵
小松引之図	"	個人 蔵	牡丹雪根図	"	館 蔵

<書 蹟>

桜をよめる歌	橋 千蔭	館 蔵
--------	------	-----

<宗教美術>

○大日如来坐像	不 詳	長砂地区蔵	毘沙門天立像	不 詳	個人 蔵
○擬宝珠	"	地蔵院蔵	蔵王権現立像	"	観照院蔵
○狛犬	"	姫宮神社蔵	○稻荷像	木喰 明満	徳興神社蔵

<工 芸>

白磁四耳壺	不 詳	個人 蔵	緑釉魚文皿	不 詳	館 蔵
備前焼壺	"	"	青磁双魚文皿	"	"
備前焼壺	"	地蔵院蔵	鯉蒔絵棗	"	"
松ニ鷹文様格子紺緋	"	館 蔵	虎溪三笑蒔絵棚	"	"
枇杷ニ鈿文様紺緋	"	"	岩松橋沢瀉紋蒔絵重香合	"	"
変わり入り菱文様紺緋	"	"	流水桜蒔絵硯箱	"	"
変わり立涌文様紺緋	"	"	松竹椿橋鶴亀蒔絵阿古陀香炉	"	"
菊水菱蒔絵花見弁当	"	"	四季草花蒔絵硯箱	"	"
蓮鷺堆黄輪花盆	"	"	青磁香炉	"	"
梅詩文堆黒輪花盆	"	"	○花禽獸文刺繍織物	伝龜井慈矩公将作品	譲伝寺蔵
松下人物堆朱輪花盆	"	"	○爬竜文織物	"	"
人物色絵漆盆	"	"	松竹梅橋紋蒔絵カルタ箱	不 詳	館 蔵
楼閣人物密陀絵箔絵花盆	"	"	梅鷺禽蒔絵小鼓胴	"	"
楼閣山水人物螺鈿四方盆	"	"	京名所蒔絵鼓箱	"	"
青釉鯉形水滴	"	"	双龍蒔絵聞香炉	"	"

古今集時絵冊子箱	不詳	館蔵	蓮鷺堆黄輪花盆	不詳	館蔵
松下人物堆朱輪花盆	"	"	染付楼閣山水文皿	"	"
梅詩文堆黒輪花盆	"	"	染付楼閣山水文四隅切皿	"	"

■ 近代美術展示室 (374㎡)

美術常設展示「空と光」(「新収蔵美術品紹介コーナー」併設)

展示期間：平成15年4月12日(土)～6月15日(日)

〔出品目録〕

木蓮 花連作の内	橋本 興家	館蔵	題名不詳	植田 正治	個人蔵
砂丘1 鳥取砂丘連作の内	"	"	シリーズ「小さい伝記」より	"	"
砂丘2 鳥取砂丘連作の内	"	"	シリーズ「童暦」より	"	"
雲と風紋と馬と 砂丘連作の内	"	"	【新収蔵美術品紹介コーナー】		
アクロポリスの男 人間連作の内	"	"	布袋図	土方 稲嶺	館蔵
漁り火の見える砂丘風景	田中 正之	"	掛分水指	生田 和孝	"
漁り火の見える夕景	"	"	黒釉面取瓶	"	"
遠い海	國領 経郎	"	海鼠釉鼻菊花紋方瓶	"	"
遙眺	"	"	白流し鑄手大鉢	"	"
碧	"	"	糠釉鑄丸瓶	"	"
二つの溜水	"	"	横臥裸婦	前田 寛治	"
鳥取砂丘	塩谷 定好	"	花菖蒲	伊谷 賢蔵	"
砂丘	"	"	マドレーヌ	"	"
天気予報のある風景	"	"	コロッセオ	"	"
線と燕	"	"	フィレンツェ	"	"
海	"	"	賀露港	山本 芳智	"
海	"	"	都市(Cite)	足羽 俊夫	"
海	"	"	風船を持つ自画像	伊藤 正雄	"
暮色群雀	"	"	聖骸布	"	"
落雷	"	"	カラーベルト 92-4	物部 隆一	"
龍巻	"	"	作品 98-16・Wavy	"	"
猿のマスクをかぶった自画像	植田 正治	個人蔵	砂(7点連作の内1, 2)	松尾 多英	"
砂丘モード	"	"			

美術常設展示「さわがしい部屋。 ～古今東西美術品混沌的鑑賞のすすめ」

展示期間：平成15年6月21日(土)～8月24日(日)

〔出品目録〕

1 作家たちが見つめてきたもの。

(1) 風景			メーデー	前田 寛治	個人蔵
秋景山水図	島田 元旦	館蔵	春宵宣行	菅 楯彦	館蔵
山と村	伊谷 賢蔵	"	川中島ノ合戦ニ山本勘介入道討死ノ図	歌川 国芳	"
因窠山 藍絵四重箱	不詳	"	(4) 人間像-裸婦像		
フランス・ノルマンディー・エトルタ	伊原宇三郎	"	まどろむ女、習作	ギョスター・ヴァーケルバ	館蔵
工場風景	前田 寛治	"	嬰粟と裸婦	伊谷 賢蔵	"
あさつ橋風景	塩谷 定好	"	裸婦	前田 寛治	"
京名所時絵鼓箱	不詳	"	ポーズ	長谷川塊記	"
阪都四つ橋	菅 楯彦	"	トルソ	山本 兼文	"
公園前	有田 巧	"	(5) 人間像-肖像		
(2) 静物/いきもの			自画像	前田 寛治	館蔵
芙蓉に群鴨図	沖 一猷	館蔵	大鷹神(自画像)	岡村吉右衛門	"
粟鶴時絵硯箱	不詳	"	扁壺	バーナード・リーチ	"
呉須花鳥文皿	"	"	寒山拾得	辻 晉堂	"
薔薇図	前田 寛治	"	寒山拾得図	青木 図南	"
静物(エリカポウレヤ)	塩谷 定好	"	寒山	辻 晉堂	"
石仏への夢	尾崎悌之助	"	拾得	辻 晉堂	"
(3) 人間像-群像			今様押絵鏡 粧ひ姫	歌川 國貞	"
十六羅漢図	根本 幽峨	館蔵	今様押絵鏡 団七九郎兵衛	"	"
十字架より降ろすキリスト	國頭繁次郎	"	ポーシをかぶるオンナ	辻 晉堂	"
			ディレクターS	インダメイ	"

2 作家たちはそれをどう表現してきたのか。

(1) 写実

猛虎図	土方 稲嶺	館 蔵
牡丹孔雀図	黒田 稲臈	〃
清水彦五郎の像	遠藤 董	〃
藁仕事	安岡 信義	〃
物を喰う男	前田 寛治	〃
T氏頭像	山本 兼文	〃

(2) 線・面・色彩

水雨降る宵	小早川秋聲	館 蔵
群像	川口 軌外	〃
素描	辻 晉堂	〃
二人の女	國領 経郎	〃
かげろう I	伊藤 正雄	〃
因久山 大平鉢 東下り	五 平	〃
白釉黒流描大鉢	濱田 庄司	〃
五輪塔 1	福留 章太	〃

山陰段々畠	尾崎憐之助	館 蔵
糠釉面取白型花生	生田 和孝	〃
海鼠釉面取肩衝瓶	〃	〃
雪中梅華図	土方 稲嶺	〃
海岸雪景	塩谷 定好	〃
白磁壺	不 詳	〃
青白瓷鎚鉢	前田 昭博	〃
Untitled Continuous File-1986 I	齋鹿 逸郎	〃
アントロポス	福留 章太	〃

(3) 抽象・非定形・非再現

Untitled	福嶋 敬恭	館 蔵
メビウス一回転 銀彩 鉄褐色釉	瀬戸 浩	〃
不定形画 1	田中 寒楼	〃
不定形画 2	〃	〃
作品13	福留 章太	〃
輪廻-744	ニシオトミジ	〃
DAY DREAM 91-8	藤原 晴彦	〃

美術常設展示「和の心をたどる - 懐古的風景画と郷愁の木彫」（「前田寛治コーナー」併設）

展示期間：平成15年11月29日(土)～平成16年2月1日(日)

〔出品目録〕

溪流春趣	中島 菜刀	館 蔵	少女	辻 晉堂	個人蔵
詩仙堂芭蕉庵	〃	個人蔵	鶏と女	〃	館 蔵
晩春午午	菅 楯彦	館 蔵	野良の父と子	〃	〃
山閑	井江 耕宗	〃	雨の日(老人)	〃	個人蔵
西の京暮色	前田 直衛	〃	少女と犬	〃	〃
京祇園	〃	〃	はせお	〃	〃
潮	寺島 節朗	〃	【前田寛治コーナー】		
溪	濱田 台兒	〃	男の横顔	前田 寛治	個人蔵
野分	〃	〃	シナ服の女	〃	〃
秋雨客舎	菅 楯彦	〃	少女坐像(赤衣)	〃	館 蔵
秋溪帰樵図	大畠 松谷	〃	立てる労働者	〃	個人蔵
古寺時雨	持田 卓人	〃	男の像	〃	館 蔵
故山秋色之図	林 益堂	〃	繙帯をした男	〃	〃
京伏見	前田 直衛	〃	西洋婦人像	〃	個人蔵
村の女	辻 晉堂	〃			

美術常設展示「LOVE POP! 幾何学的抽象表現の作品から」（「前田寛治コーナー」併設）

展示期間：平成16年2月7日(土)～3月28日(日)

〔出品目録〕

Wavy 89-IV	物部 隆一	館 蔵	GAME(Y)	野崎信次郎	館 蔵
カラーベルト 92-4	〃	〃	GAME(E)	〃	〃
作品 92-8・Cylinder	〃	〃	Image(W)	〃	〃
作品 97-6	〃	〃	増幅する	福留 章太	〃
作品 98-16・Wavy	〃	〃	増幅する15	〃	〃
作品 98-22・Coșta	〃	〃	増幅する20	〃	〃
作品 98-14・ロンドIV	〃	〃	雲のシリーズ'91	瀬戸 浩	〃
原色のコンポジション・02-5	〃	〃	青釉金ストライプ盤	〃	〃
原色のコンポジション・02-7	〃	〃	【前田寛治コーナー】		
untitled 62-3	〃	個人蔵	街の風景	前田 寛治	館 蔵
untitled 66-2	〃	〃	工場内部	〃	個人蔵
対話(A)	野崎信次郎	館 蔵	メーデー	〃	〃
白い対話(A)	〃	〃	立てる男	〃	〃
白い対話(W)	〃	〃	労働者	〃	〃
LOVE(A)	〃	〃	ものを喰う男	〃	館 蔵
LOVE(C)	〃	〃	福本和夫氏像	〃	〃

(2) 特 別 展

●「世界どうぶつ物語ー動物地理学で語る鳥取から世界までー」

ホッキョクグマ・オカピ・テングザルなどの剥製から、生きたヘラクレスオオカブトムシなどまで、約700点の世界中の動物を展示し、現在、地球上に存在する数千万種ともいわれる動物たちの長い長い進化の「物語」を動物地理学の視点から解き明かしました。また、「本州のガラパゴス：鳥取県」のコーナーでは、鳥取県における動物地理学の注目すべき研究成果も紹介されました。

連日多くの来館者で賑わい、入館者数は24,087人と、26年ぶりに2万人を突破しました。来館者は、巨大な動物に驚き、動物の多様性や進化のなぞに感心し、私たち人間という動物の歩むべき道に思いをはせていました。

●会 期 平成15年7月20日(日)～8月24日(日) 【休館日：7/28、8/4】

●会 場 第1・2特別展示室

●展示構成

第1章 世界の動物たちのいる場所・きた道

北極圏に固有のホッキョクグマから、オーストラリアに固有のカンガルーまで、世界の動物の分布とその進化の歴史を紹介。

第2章 動物たちが多様であるしくみ

なぜ、これほどまで多様な種ができ、それらが共存しているのか？動物たちの進化のしくみを紹介。

第3章 本州のガラパゴス：鳥取県

カワトンボ類、ザトウムシ類、両生類など、鳥取県とその周辺では、多くの動物が特異的に、かつ集中的に変異していることを紹介。

第4章 動物たちと私たち

図書・おりがみ・動物画のコーナー、そしてシアター「物語の終わりに…」など、参加体験型の展示を多数用意し、動物と人間のあるべき未来について、共に考えていこうというメッセージを伝えた。

●関連事業

○特別講演会 7月20日(日) 14:00～16:00 講堂

『なぜ、私たちは生きものを守らなければならないの？』

講 師：千石 正一（自然環境研究センター研究主幹）

参加者数：430人（講堂250人、会議室80人、喫茶前100人）

○シンポジウム 7月27日(日) 14:00～16:00 講堂

『本州のガラパゴス：鳥取県ー中国地方東部における動物の地理的変異と進化のなぞー』

パネリスト：鈴木邦雄（富山大教授）、松井正文（京都大教授）、鶴崎展巨（鳥取大教授）、

岡田昭明（鳥取大学教授）、川上靖（当館学芸員）

参加者数：80人

○ミュージアムジャズライブ 8月10日(日) 17:30～21:00 エントランスホール

『Message from Nature ～自然からのメッセージ』

演 奏：森下 滋（ピアノ） 田中 邦和（サクソ）

参加者数：280人

○ギャラリートーク 7月27日(土)、8月2日(土)、9日(土)、16日(土)、23日(土) 計5回 14:00～

参加者数：174人（児童・生徒77人、一般97人）

●入館者数 24,087人（一般11,365、高校生477、小・中学生7,009、幼児5,236）

※2万人を超える特別展は、昭和52年の「失われた生物」展以来、26年ぶり。

●「よみがえる仏像－仏像修理と仏師・国米泰石－」

会 期 平成15年10月21日(火)～11月16日(日)
会 場 鳥取県立博物館 第1・2・3特別展示室
主 催 文化庁、鳥取県教育委員会、鳥取県立博物館
協 力 財団法人 美術院
助 成 財団法人 地域創造
入館料 一般1,000(800)円、()内は前売並びに20人以上の団体料金

国宝などの文化財の修理は、岡倉天心によって創設された日本美術院の第二部（現 財団法人美術院）が手がけた仏像の修理に始まる。以後、日本美術院第二部は仏像修理を中心にその重責を果たしてきましたが、その初期から修理に加わり、各地の貴重な仏像の修理に情熱を燃した仏師に、八頭郡智頭町生まれの国米泰石（こくまい・たいせき 1879(明治12)年～1957(昭和32)年）がいた。

泰石は、岡倉天心との出会いから日本美術院第二部に所属し、京都・神護寺の五大虚空蔵菩薩座像（国宝）や京都・浄瑠璃寺の四天王像（国宝）など各地の仏像修理に携わり、それは西日本の国宝・重要文化財など主要な仏像に及んだ。

晩年は鳥取市に住んで仏像を刻み、また鳥取県文化財保護委員として文化財の発掘・保護に尽力し、昭和30年には仏像修復技術確立の業績が認められ、黄綬褒章を授章した。

本展では、泰石らが修理に携わった仏像を紹介するとともに、自ら刻んだ仏像彫刻を展示し、文化財保護に尽くした郷土の仏師・国米泰石の業績を紹介した。

<関連行事>

(1) 特別講演会 「美術院のあゆみと仏像修理を中心に」

期 日 10月26日(日) 午後2時～
講 師 藤本 青一 氏 (財 美術院国宝修理所長)
参加人数 98人

(2) 特別講演会 「日本海山岳仏教の美術」

期 日 11月2日(日) 午後2時～
講 師 松浦 正昭 氏 (奈良国立博物館仏教美術資料研究センター長)
参加人数 95人

(3) ワークショップ「一人一仏 救世観音に挑戦！」

期 日 11月9日(日) 午前10時～午後3時
講 師 仲倉 裕朋 氏 (仏師)
参加人数 21人

(4) 学芸員講座 「郷土の仏師・国米泰石について」

期 日 11月3日(祝) 午後2時～
講 師 門脇 博 (当館学芸員)
参加人数 85人

(5) ギャラリートーク 毎週土曜日午後2時から 展示会場

期 日 10月25日、11月1日、11月8日、11月15日
参加人数 計87人

●入館者数 4,393人